

「保育所等における食事提供体制に係る調査研究事業 報告書」

に関する意見

平成 29 年 3 月 17 日

社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国保育協議会

常任協議員 村松 幹子

- 全国保育協議会が平成 29 年 2 月 9 日付で提出した意見のとおり、本調査協力者会議の目的とする「保育所等における給食の外部搬入容認事業の効果・問題点」および「地域や家庭の実情に応じた食事提供の在り方について検討を行う」ことに則った、報告書の方向性の整理が必要です。
- 平成 24 年度構造改革特別区域推進本部評価・調査委員会（以下、評価・調査委員会）の指摘のとおり、外部搬入による弊害の除去に課題が認められるのであり、本調査協力者会議においては、積極的に外部搬入を進めるための方策を模索するのではなく、現状の問題点を明らかにしたうえで、地域や家庭の事情でやむを得ず外部搬入を行う場合の「最低限具備しておかなければならない要素」を整理し、子どもへの食事の提供意義が担保される体制のみにおいて容認されるべきという姿勢での検討が必要です。
- 今回の施設調査・保護者調査いずれの結果においても、より望まれるのは「自園調理」であることは明白であり、「外部搬入」を選択する動機は各自治体における財政事業からの「効率化」・「コスト削減」です。
- 今回の調査からは、「自園調理」及び「外部搬入」の質的評価・比較を行うことは困難ですが、給食設備の老朽化や調理員不足を原因とする、もとより「自園調理」を選択することのできない代替措置としての「外部搬入」であるならば、積極的に容認する方向性での報告書には違和感を禁じ得ません。
- 保育所等における子どもの育ちを保障するための基礎的な仕組みとして、各施設において自園調理を実施するための調理員人件費が給付として算定されており、また、新制度においては、栄養士等を活用した食事の提供の質を向上に取り組む施設には、「栄養管理加算」が給付されています。

- 保育所等における子どもの食事について、これに係る諸般の費用を、身体発達・情緒形成・精神安定をもたらす「投資」と捉えるのか、削減すべき「コスト」と捉えるのか、直近改定された保育所保育指針の趣旨に鑑みても、前者と捉えるべきであり、軽々なコスト削減の議論に拘泥するべきでないことは、言を俟ちません。

報告書は、上記の前提に立った上で、以下の構成に再整理いただきますようお願いします。

- 「1. 保育における食事の重要性」で挙げられる各項目は、それぞれ必要な重要な要素です。各項目においてふまえておくべき点を、具体的に整理ください。その際、基準上求められる内容、ガイドラインで求められている内容、その他個々の園の自助努力で求められる内容等、対応のレベルがわかるように整理してください。

- 「2. 保育所等の食事提供体制をめぐる現状」では、唐突に外部搬入を導入「せざるをえない」記載が現れます。各自治体の財政事情による特に公立施設での導入が多くある実態からも、「私立」を同列に論じていることには疑念を禁じ得ません。ヒアリング等で上がった極少数の事例を、一般化して現状を断じることとはできません。

また、現状にある課題への対応が「外部搬入」のみであるかのような書きぶりは、実態を誤って捉えかねない内容です。

- 「1.」→「2.」→「3.」の流れが唐突であり、「外部搬入」をさせることが目的化のような書きぶりになっているので、以下のような整理が必要です。

①自園調理が基本

- **②各自治体等で、いわゆる地域主権における「標準」として（参酌すべき基準でなく）の判断等、「保育の質」を考慮した上で、合理的理由の範囲内でやむを得ず外部搬入を選択しうる**
- **③その際においても、アレルギーや年齢に応じた食事への個別的対応が困難であること等の「懸念事項」として整理すべきで、実施を前提とする「留意事項」ではない**

- また、「保育所等における食事提供体制に係る調査研究事業」として、地域型保育事業における食事提供についても調査が行われました。
地域型保育事業は小規模な施設や家庭等であり、保育所のような調理・衛生設備は有していない場合が大半です。調査票への回答について、「自園調理を実施している」としても、保育所における食事提供と同列に論じることは、無理があります。

- 地域型保育事業の食事提供体制は、平成 27 年度に新制度がスタートしてから初めてなされたものであり、その結果は貴重なデータではありますが、今般の「外部搬入」に係る各種の議論において、比較のエビデンスとして持ち出すには、根拠の薄い内容です。
「外部搬入」に係る評価の議論とは分けて考えるべきです。

- なお、ヒアリング調査の「評価・まとめ」においては、ヒアリングを受けた対象が挙げた評価や感想である旨が、読み手に誤解なく伝わるよう、表現を改めてください。現状の標記は、本調査研究協力者会議の評価と誤読されま
す。

以上